

(款) 40観光費 (項) 5観光費 (目) 5観光総務費

◎観光一般の経費

観光運営事業	【 観光課 】
---------------	---------

【総合計画上の位置づけ】

活力ある暮らしやすいまち
観光:観光に高い魅力と独自性があるまち

【事業の目的】

対象 観光客等

意図 鎌倉の魅力を広く世間に周知することによって、多くの観光客に鎌倉を訪れてもらうため。さらに、それら観光客が安全で快適に観光を楽しむことができるようにするため。

効果 観光客にとっては、観光目的を達することによる満足感の高揚を図り、市にとっては、産業振興、雇用確保などの経済的波及効果や地域の活性化につながる。

【事業の内容】

(1) 観光運営事業

- ・日本観光協会などの関係団体、協議会と連携し、誘客キャンペーンやパンフレットの作成などの広報宣伝や情報交換等を行った。
- ・第2期鎌倉市観光基本計画の推進及び進行管理を行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

観光基本計画の推進(6-3-5-①)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
11,634	11,428	11,145		283

主な支出内訳

・観光運営事業

事務補助嘱託員報酬 2人	2,009
鎌倉市観光基本計画進行管理委員会委員報償費	126
鎌倉市観光振興推進本部等パンフレット作成委託料	1,549
富士箱根伊豆国際観光テーマ地区神奈川県協議会負担金	670
神奈川県観光振興対策協議会負担金	360
湘南地区観光振興協議会負担金	270
鎌倉藤沢観光協議会負担金	180
日本観光協会負担金	163
神奈川県観光協会等負担金	101
観光行事安全対策費負担金	5,000
東大寺サミット負担金	150

平成21年度事務事業評価シート

事務事業 No./名称	■サービス部門 市民-14 観光運営事業 □支援部門						
事務事業 単 位	ザイムス コード及び 個別事業 名	384 観光関係団体連携事業					
		384 報酬または賃金など					
		1183 観光基本計画推進事業					
主管課	観光課	関連課					
分野名	観光						
目標 (目標値)	観光振興に関する観光客及び市民の満足度を高める。平成22年度までに観光客80%、市民90%が目標数値。入込観光客数を現状値(17年の1840万人)以上とする。						
人口等の データ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備 考		
	人 口	176,484人	175,902人	175,051人	・各年4月1日 ・観光客数は暦年		
	世 帯 数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯			
観光客数	19,344,470人	18,685,598人	18,455,281人				
運営資源 状 況	決算値	11,145千円	4,128千円	5,006千円			
	(国・県)						
	(負担金等)	200千円					
	(一般財源)	10,945千円	4,128千円	5,006千円			
	人員配置数	1.4人	1.4人	1.1人			
	人 件 費	13,617千円	13,473千円	10,668千円			
	協働の パートナー	広域観光団体ほか 推進体制関係団体ほか	広域観光団体ほか 推進体制関係団体ほか	各広域観光団体ほか			
事務事業 運営経費	総事業費	24,762千円	17,601千円	15,674千円			
	市民1人当 りの経費	140円	100円	90円			
	対象者1人 当りの経費	1.3円	0.9円	0.8円			
20年度事務事業の変更点(新規・廃止・縮小した個別事業)/事業仕分けの視点による妥当性の評価							
個別事業名	変更額(千円)	事業の変更点・変更理由		妥当性※			
観光基本計画の推進	1,648	市民向けのシンポジウムの開催やパンフレットの作成		④	※妥当性の評価 ① 必要性なし ② 民間 ③ 国・県 ④ 現行どおり(鎌倉市)		
指 標	評価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
鎌倉観光の印象で、満足以上 を選んでいる観光客の割合	○	目標値	80%	80%	80%	80%	80%
		実績値	70.20%	73.89%			
指 標	評価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
観光に取り組む姿勢を評価 している市民の割合	○	目標値	90%	90%	90%	90%	90%
		実績値	77.60%	80.60%			
指 標	評価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
入込み観光客数 (目標は現状値1840以上)	◎	目標値	1840万以上	1840万以上	1840万以上	1840万以上	1840万以上
		実績値	1,869万人	1,934万人			
指 標	評価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
評価 ◎:目標を達成 ○:目標に向かって前進している △:横ばい ×:後退している							
ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)							
団体名	横浜市	藤沢市	箱根町		京都市	奈良市	小樽市
観光客数	42,532	13,401	20,677		50,210	11,695	7,145
宿泊客数	5,134	362	4,727		13,061	2,188	637
宿泊率	12.1%	2.7%	22.9%		26.0%	18.7%	8.9%
	鎌倉市						
観光客数	19,344						
宿泊客数	327						
宿泊率	1.7%						

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	<p>(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後に向けては、個別検討部会などで、具体的な課題への掘り下げが必要となる。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	<p>(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・推進体制全体のスケジュール管理を徹底して行い、早めの準備を心がけた。 ・第2期観光基本計画の推進体制の運営を進めた。推進本部、個別検討部会、進行管理委員会、庁内連絡会など、合計12組織を設置し、主管事務局として22回の会議を開催した。 ・新規事業として市民向けの観光振興シンポジウムの開催や推進本部紹介パンフレットの作成した。
	未解決の課題・問題点	<p>(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後、個別検討部会などから提言が出され、個々の課題への具体策の検討、実施が求められる。 ・新規事業の執行に伴い、従来業務や推進体制の進行に支障があった。
	今後の方針 (対応・改善)	<p>(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後は、個別検討部会での議論を支援し、方向性や具体策の提示が計られるように取り組んでいきたい。 ・新規、従来事業を問わず、事務事業の優先度の選別をし、人的資源の集中的な投入など効率的な運営を図りたい。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	<p>A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止</p>	A	改善の必要性 無
	<p>観光振興は、産業振興や地域の活性化に繋がり、まちづくりの重要な要素になってきている。このため、今後も地域一丸となって観光振興に取り組むにつつ、様々な課題を解決すべく具体的な方策の提案や実現を図りたい。</p>		
担当課長氏名:		鶴見 俊之	

二次評価(部長評価)

今後の方向性	<p>A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止</p>	A	改善の必要性 無
	<p>鎌倉市の観光資源を活かした地域の活性化を一層図るため、今後も推進本部が主導となり、地域一丸となって観光振興に取り組むことが重要である。</p>		
担当部名	市民経済部	部長名	相澤 千香子